

【 中野区 】 胃がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

| | |
|--------------------|------|
| 対象年齢（50歳以上：隔年） | している |
| 検査方法（胃部X線または内視鏡検査） | している |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|--------------------------|--------|--------|---------|
| 該当年齢の人口 | 81,566 | 88,031 | 169,597 |
| 【東京都調査による対象者率(区部)：58.2%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 1,627 | 2,491 | 4,118 |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|--------------------------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査 |

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | していない |

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

| | あるべき値 (許容値等) | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 3.4% | 4.9% | 4.2% |
| 要精検率 | 11%以下 | 13.6% | 8.8% | 10.7% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 77.5% | 82.6% | 80.0% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 22.5% | 17.4% | 20.0% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 陽性反応適中度 | 1.0%以上 | 2.3% | 2.7% | 2.5% |
| がん発見率 | 0.11%以上 | 0.31% | 0.24% | 0.27% |

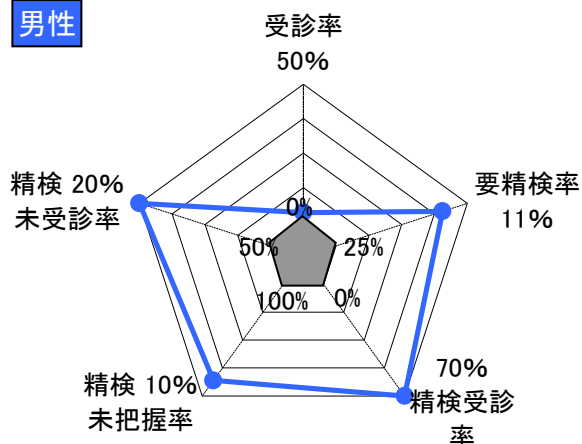
プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

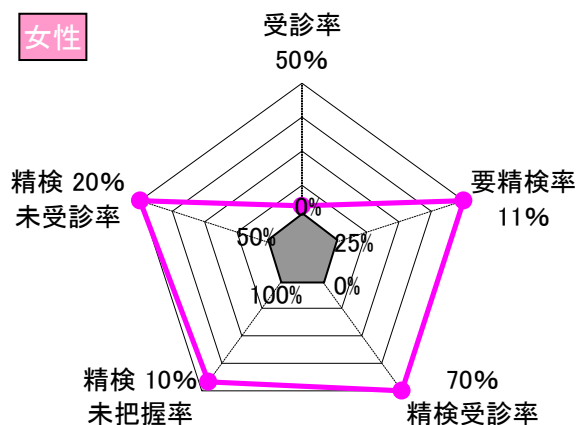
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

【 中野区 】 大腸がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

| | |
|------------------|------|
| 対象年齢（40歳以上） | している |
| 検査方法（便潜血検査(二日法)） | している |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|--------------------------|--------|--------|---------|
| 該当年齢の人口 | 81,566 | 88,031 | 169,597 |
| 【東京都調査による対象者率(区部)：62.3%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 11,775 | 20,687 | 32,462 |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | していない |

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

| | あるべき値 (許容値等) | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 23.2% | 37.7% | 30.7% |
| 要精検率 | 7%以下 | 10.0% | 6.8% | 8.0% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 46.2% | 46.4% | 46.3% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 53.8% | 53.6% | 53.7% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 陽性反応適中度 | 1.9%以上 | 3.3% | 2.0% | 2.6% |
| がん発見率 | 0.13%以上 | 0.33% | 0.14% | 0.21% |

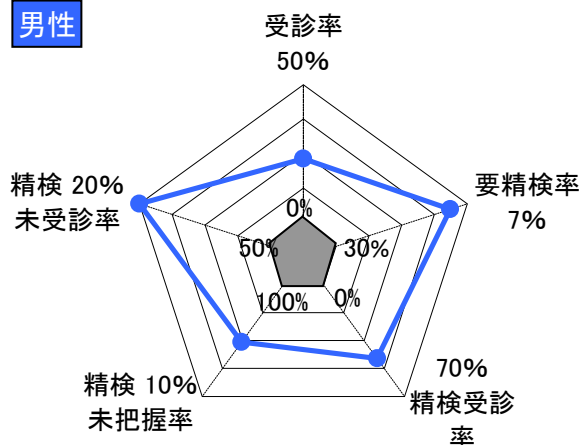
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

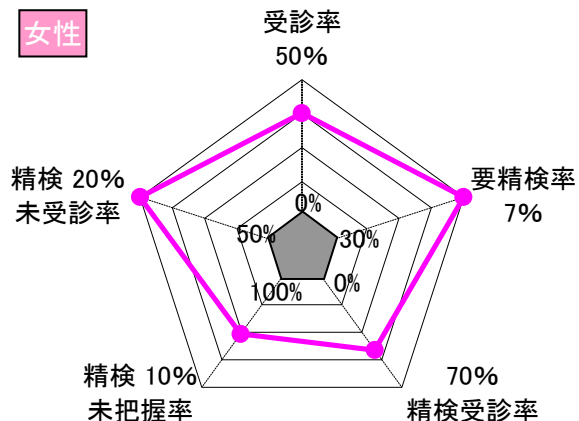
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

【 中野区 】 子宮頸がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

| | |
|----------------|------|
| 対象年齢（20歳以上：隔年） | している |
| 検査方法（細胞診） | している |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|--------------------------|----|---------|-----|
| 該当年齢の人口 | | 139,717 | |
| 【東京都調査による対象者率(区部)：66.3%】 | | | |
| 実際の受診者数 | | 9,100 | |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | していない |

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

| | あるべき値 (許容値等) | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|----|-------|-----|
| 受診率 | 目標値50% | | 19.4% | |
| 要精検率 | 1.4%以下 | | 3.7% | |
| 精検受診率 | 70%以上 | | 61.4% | |
| 精検未把握率 | 10%以下 | | 38.6% | |
| 精検未受診率 | 20%以下 | | 0.0% | |
| 陽性反応適中度 | 4.0%以上 | | 0.6% | |
| がん発見率 | 0.05%以上 | | 0.02% | |

プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

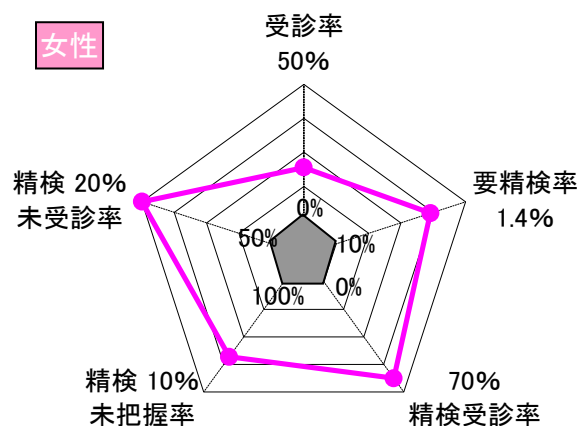
要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。



【 中野区 】 乳がん検診 平成27年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

| | |
|----------------|------|
| 対象年齢（40歳以上：隔年） | している |
| 検査方法（マンモグラフィ） | している |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|--------------------------|----|--------|-----|
| 該当年齢の人口 | | 88,031 | |
| 【東京都調査による対象者率（区部）：66.3%】 | | | |
| 実際の受診者数 | | 6,851 | |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | していない |

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

| | あるべき値 （許容値等） | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|----|-------|-----|
| 受診率 | 目標値50% | | 21.5% | |
| 要精検率 | 11%以下 | | 11.0% | |
| 精検受診率 | 80%以上 | | 81.5% | |
| 精検未把握率 | 10%以下 | | 18.5% | |
| 精検未受診率 | 10%以下 | | 0.0% | |
| 陽性反応適中度 | 2.5%以上 | | 3.2% | |
| がん発見率 | 0.23%以上 | | 0.35% | |

プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

